

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	シヤカイガク	(フリガナ)	
授業科目名	社会学②⑩	担当教員名	小川 祐喜子
英文授業科目名	Sociology		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/ 時限/ 講義室	火 4 限/ 池袋, 木 3 限/ 浅草		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会学 家族 マス・メディア 自己 他者		
授業概要・目的	本講義は、『よくわかる社会学』を教科書に、社会を見ていく知識を習得することを目的とする。本講義では、社会学理論、社会調査、家族、国際社会、自己、他者を中心に日本社会における社会事象をみていく。		
到達度評価の評価項目	①社会学理論を理解する。②社会調査の方法を理解する。③日本社会における社会事象を理解する。①、②、③を理解し、社会を見ていく能力を身につけていくこと。		
授 業 計 画			
第 1 回	ガイダンス オリエンテーション 講義の進め方。社会とは。		
第 2 回	社会学とは何か。 社会学理論と社会調査		
第 3 回	社会学理論① マクロ社会学 社会から個人を見る方法		
第 4 回	社会学理論② ミクロ社会学 個人から社会を見る方法		
第 5 回	社会調査の方法① 社会調査とは。定量調査とは。定量調査の種類。		
第 6 回	社会調査の方法② 定性調査とは。定性調査の種類。定性調査からみる社会。		
第 7 回	家族と社会① 家族と絆 結婚の個人化 低出生社会		
第 8 回	家族と社会② 夫婦の関係 親子の関係		
第 9 回	家族と社会③ 核家族化 脱近代家族の動き 家族の発達		
第 10 回	国際社会と社会学① 「エスニシティ」とは何か。国民国家と地域・民族問題		
第 11 回	国際社会と社会学② 多分化社会とその課題		
第 12 回	自己と他者と社会① 自己と他者とのコミュニケーション		
第 13 回	自己と他者と社会② 自己 社会的自己		
第 14 回	自己と他者との社会③ 記憶と自己		
第 15 回	まとめ 社会学からみる社会		
教科書・参考書等	宇都宮京子、2006、『よくわかる社会学』、ミネルヴァ書房		
授業で使用する機器等	配布資料を用意する。配布資料は、iPad で映し出し書き込みながら授業を進行していく。		
予習・復習へのアドバイス	講義内で行ったことは、必ず復習をすること。		
履修上の注意・受講条件等	とくになし		
成績評価の基準等	出席 50% 試験 50%		
メッセージ	講義中の私語、スマホ使用は禁止とします。		
オフィスアワー	メールで対応していきます。質問などは、以下のメールアドレスにご連絡下さい。toki1124yuki@yahoo.co.jp		
その他			